



第29号

(発行所)

真宗大谷派
松岡山 廣讚寺

中村区城屋敷町3-30
TEL(052)411-5301
FAX(052)411-5341

「相好ごとに」

「御身ニカギラズ、念仏申サン人々ハ、ワガ御身ノ料ハ、オボシメサズトモ、朝家ノ御タメ国民ノタメニ、念仏ヲ申シアワセ給ヒ候ワバ、メデタフ候ベシ」

「世ノナカ安穩ナレ、仏法ヒロマレトおぼしめ恩召スベシトゾ
覚エ候」

門弟性信は念仏信者の代表として鎌倉幕府との訴訟にあたっていた。その内容を六月一日に報告をしている。それに対して聖人は

「オホカタノ陳情ヨク御ハカラヒドモ候ヒケリ。ウレシク候」

と七月九日に返書をしてみえる。上記「二文」はこの時のものである。

念仏者の在り

方を教えてみえるものである。

信心を得たる者の、

念仏を身につけたる者の、

社会の一員としての在り方を示してみえるのである。

八百年前の封建社会の真ただ中であって、聖人は自由人としての次元の高い仏世界の人種、民族の区別することなく一宗教にこだわることなき光明世界を教えるのである。

和讃に曰く

相好ごとに百千の

ひかりを十方にはなちてぞ

つねに妙法ときひろめ

衆生を仏道にいらしむる



別院奉仕研修に参加して (H22・5・24(月))

秋田都三

真実の教に出遇う
葬儀を縁として

輪番挨拶から

一、東京方面では最近観光バスの中で葬儀する商売まで
でてきた。

二、生涯念仏をとなくて人間として生かされている命の
尊厳をすることだ。

今日の講師 加藤裕幸

A 一、仏法とは何か。高光大船氏の言葉。鉄砲の反対だ。

二、自力とは…頭を下げる。他力とは…頭が下がる。

三、無明とは。虐待。自殺。宗教にもいろいろある。

B 一、清掃奉仕について一班十班、各班の中に広讚寺よ
りの奉仕者は三名以上あったことで心づよかった。

二、班別座談会。一時三十五分～三時三十分。三班は小
林哲也先生で、テーマは「葬儀を出す事について考
える」であった。

一、いの中の尊厳…人間として生まれたことの喜び。仏
法を聴く喜び。

二、仏教…供養とは何か。その反省。

三、葬儀とは、自分の家から、またお寺から親類の方々
や隣組の方々によって出して頂くのが本当の喜びで
はないだろうか。供養とはそういうものだ。

※寺西税さんから、インド旅行の話と写真の展示があり、
美しい日本の再認識が語られた。

.....

「夏草や兵どもがゆめの跡」に

松尾芭蕉

「奥の細道」の東の最北端、平泉・高館に着く。ここ衣
川は激しい合戦のあった義経終焉の地。今激戦の面影は
何一つ残っていない。夏草が思いのままに茂っているだ
け。

人の計らい、人の野望、人の世のはかなさ…。すべて
は夢のごとし。

奥州藤原三代によって陸奥に華咲いた一大法王国の跡
は中尊寺や毛越寺に色濃く残っている。夏草の…句碑は

毛越寺に立っている。

折しも「奥の細道」を学習し夏ですのでこの句を選んでみま
いずれもがなじみのあるわか

農園日記 (その1)

去年まで水田だった土地を埋
園にして十一人に栽培をお願い
し栽培することにした。水田の
ったので、いい畑が出来たと喜
耕してみると予想に反してとく
最大の誤算は、「水田では良質
が乾燥して硬い粘土質の土とな
培はできない」ことでした。

一区画七坪ほどの土を耕し粘
き、細かい土にした。そして腐
かいサラサラした土に改良する
十一人の作業者も同じような作

阿弥陀経について [1]

伊藤和美

毎月命日にお宅を訪れ読む阿弥陀経は、お釈迦様が弟子の一人舍利弗の涅槃(ねはん)に近いことに気づかれ、浄土の事すなわち阿弥陀仏の事を知らしめんがために、舍利弗の名を三十六遍も連発され、懇々と言い聞かせようとされたお釈迦様のお心が感じられます。

親鸞聖人はお仮名聖教の中、一念多念文意で取り上げ『無問自説経』と言ってみえます。お釈迦様に誰も何も尋ねなかったことが無問、自身の気持ち動いてお説きになったことが自説ということでしょう。

この説教は後日編集されて阿弥陀経ができ、その後中国の鳩摩羅什くまらじゅう、菩提流支ぼだいりゅうし、玄奘三蔵げんじょうさんざうらの方々のご苦勞な翻訳があり、私たちはこの阿弥陀経を聴聞することができます。

この説教を数千人のお弟子さんが聴聞した。その中でも高弟と言われる者が十六名この経に名を連ねています。この高弟の方々はどのような人々かを一人ずつ調べて廣讚寺ジャーナルに連載します。

行事予定

八月十四日(土) 七時半 同朋会(役員は七時)

十八日(水) 二時 廣讚寺役員会

十九日(木) 二時 学習会

二十八日(土) 十時 二十八日講・女人講

九月 十一日(土) 七時 同朋委員会・例会

十二日(日) 八時 庭そうじ

(昼おとぎ後、解散)

十九日(日) 二時～四時 学習会

二十三日(祝) 十時 秋季彼岸会

説教 廣瀬純史師
廣讚寺講総会

二十四日(金) おかみそり

二十五日(土) 三時 彼岸お勤め

二十六日(日) 三時 住職説教

二十八日(火) 十時 二十八日講総会

【20組行事案内】

● 八月二十八日(土) 一時半 『ご命日の集い』

中村区太閤3の5の17 大誠寺にて